

講義名	栄養学実習
開講学年	2年
講義開講時期	前期
開講曜日・時間	月曜日 1.2時間目、 金曜日 3.4時間目
単位	1単位

担当教員

北井 宏幸

授業の達成目標	各ライフステージにおける一連の栄養管理のあり方と食事摂取基準に基づいた栄養管理の基本を実習を通して修得する。
授業の概要	演習ではグループワークにて、ライフステージごとの栄養状態に応じた栄養ケアマネジメントが展開できるようにする。
授業形式	講義・演習及びグループ学習

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	栄養マネジメントの基礎知識	栄養マネジメントの基礎知識・栄養アセスメントの方法について 栄養マネジメントの記録法 SOAP 形式による記録の書き方について	
2	妊娠期の栄養	妊娠期の栄養ケアプログラム作成(妊娠期における推奨体重増加・児の正常な発育の為に必要な栄養・個々人に応じた食生活指導等について)	
3	授乳期の栄養	母乳栄養の大切さ・栄養食事のポイント・栄養ケアの大切さについて	
4	乳児期の栄養①	離乳食の具体的な進め方、献立作成(分量、使用食材、調理形態)を行います。	
5	乳児期の栄養②	乳時期における疾患(低出生体重児、食物アレルギー、便秘、下痢等)	
6	幼児期の栄養	アレルギー対応食(除去食、代替食)の献立作成及び栄養ケアプランの作成	グループワーク
7	学童期の栄養	学童期における肥満と痩せの問題、朝食の欠食、偏食問題について	

8	思春期の栄養	神経性食欲不振症の栄養ケア、鉄欠乏性貧血等を学びながら一生涯で一番栄養摂取が必要な時期であることの理解	
9	成人期の栄養①	標準的な健診、保健指導プログラムの実際 健診の内容、保健指導対象者と選定の階層化、保健指導の内容	グループワーク
10	成人期の栄養②	成人期の栄養ケアプログラムの作成 食品構成をしようした献立作成	
11	高齢期の栄養①	高齢期の特性、栄養アセスメント、栄養ケアプログラム作成	
12	高齢期の栄養②	褥瘡、摂食嚥下障害の栄養ケア 誤嚥しやすい形態、安全に食べるための工夫	
13	運動・スポーツと栄養	競技の為の運動と栄養 スポーツと栄養補給について	グループワーク
14	環境と栄養	特殊環境下（高温、高圧、低温、低圧、騒音、振動等）における栄養について ストレスと栄養	
15	テスト	テスト	

事前・事後学習の内容	授業前には各ライフステージにおける栄養管理の基本を予習しておくこと。
成績評価の方法	授業の出欠と期末試験および提出物にて判定・授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。 ・S・A・B・C・Dで判定（Dは不合格）【提出物20%試験の成績80%で総合評価する】（総合獲得点数 S：90点以上 A：80～89点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下※不合格） ※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。
参考書	【ライフステージ 実習栄養学 医歯薬出版株式会社】
教材	【応用栄養学マネジメント演習・実習第5版 医歯薬出版株式会社】 プリント